

# 宇部工業高等専門学校校外発表論文等（抄録）

## 【学術論文】

畠村学：高校生と読む「論語」－コミュニケーション能力を育てる漢文の授業－、論文集「高専教育」、第36号、2013年3月、p.321-326

本報告では、畠村が低学年の「漢文」の授業で行っているコミュニケーション能力向上させるための取り組みとして、「名前の漢字を調べよう」（名前の漢字を調べ、資料にまとめて発表する授業）、「論語プレゼンテーション」（「論語」の一編を各自で調べ、資料にまとめ発表する授業）の2つを紹介した。通常古典の授業はコミュニケーション教育とは切り離される形で行われているが、国語の授業時間数の少なさや、受験を意識した授業を行う必要が無い高専の特徴を活かし、本文の読解や文法事項の説明に止まらない、学生のコミュニケーションに必要な能力を高める取り組みを行い、それを報告した。

なお、本論文は、高専機構より『論文集「高専教育』』第36号の「高専教育論文賞」を授与された。

長谷川滋成\*、畠村学、武井満幹\*、佐藤大志\*、阿部正和\*、屋敷信晴\*：望廬会、支遁詩訳注稿（6）、『東洋古典学研究』、第36集、2013年10月、p.77-102

東晋の詩僧である支遁（314～366）の全詩を翻訳し、注釈をつける作業の6回目である。今回は「禪思道人并序」「詠利城山居」の二首の訳注を作成し、畠村が「禪思道人并序」を担当した。「禪思道人」とは、座禅修行する道士（ここでは仏僧）であり、詩序に拠れば、東晋期の著名な文人であり、支遁とも交遊のあった孫綽が、在家の信者の身でありながら自ら山中で厳しい修行に励む道士の像を描き、かつその讃も書いたことを称えることがこの詩を書いた目的であると記されている。支遁は、孫綽の書いた道士の画像を見ながら、道士を客観的に詩に描くだけでなく、悟りに至ろうとする道士の内面世界まで踏み込んで詩のなかで表現していることが確認できた。

## 【報告】

劉夢得の会（文責 畠村学）、第16回劉禹錫読書会報告、『中唐文学会報』第20号、2013年10月、p.101-115

16回目を迎えた劉禹錫読書会の報告である。今回は『劉禹錫集』（卞孝萱校訂、中華書局）巻23所収の「古調十六首」所収の詩を読むことにした。畠村は、そのなかの「登司馬錯故城」（司馬錯の故城に登る）を担当した。この詩では、朗州司馬として長安から遠く離れた僻遠の地に左遷された劉禹錫の懐古と望郷の情が詠じられている。戦国時代、秦の將軍司馬錯が築いた城塞は今や廃墟と化し、鬱蒼とした南方の山林に取り込まれている。その故城に、長安の官僚として政権中枢部で活躍していながら、突如朗州司馬に左遷された劉禹錫自身が重ねられていることを明らかにした。

## 【学会発表】

畠村学：孔子にもの申す意見文の授業－モデルコアカリキュラムに対応した漢文授業の実践－、平成25年度全国高専フォーラム（世話校：香川高等専門学校、会場：豊橋科学技術大学）、2013年8月21-23日

本報告では、畠村が低学年の漢文の授業で実施している「論語」や「莊子」などの漢文の思想教材を読解した上で、そこに記される中国の思想家の考え方や主張に対し、学生が自らの意見を200～500字程度で述べるという取り組みを紹介した。限られた時間数のなか、モデルコアカリキュラムに提示される国語の到達目標を個別にすべて達成するのは困難である。漢文（古典）の授業であっても、コミュニケーション能力等を習得することは可能であり、本報告ではその具体的な取り組みについて紹介した。

## 【学術論文】

Kei Miura : A note on birational transformations belonging to Galois points, Beitrage zur Algebra und Geometrie 54(2013),303-30 .

Let  $P$  be a Galois point for a hypersurface  $X$ . Then every element of the Galois group  $G_p$  induces a birational transformation of  $X$ . In this note, we study this birational transformation. In particular, for smooth cubic hypersurface, we determine the condition when the birational transformation becomes a linear one.